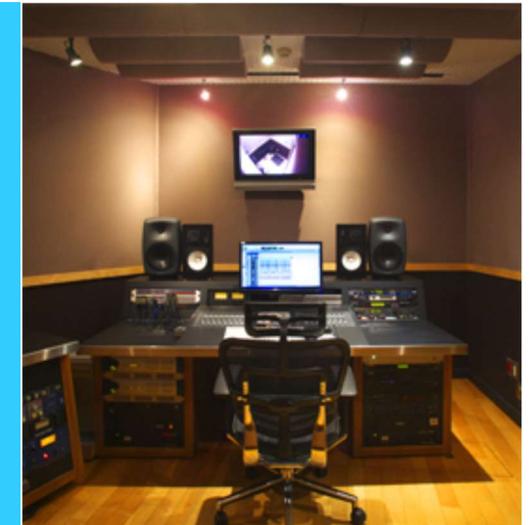




Support The Hospitality

表舞台を輝かせる真のおもてなしを極めて



2021年9月期第2四半期決算説明資料

2021年6月

株式会社CSSホールディングス

東証 JASDAQ

証券コード 2304

<https://www.css-holdings.jp/>

2021年9月期第2四半期決算

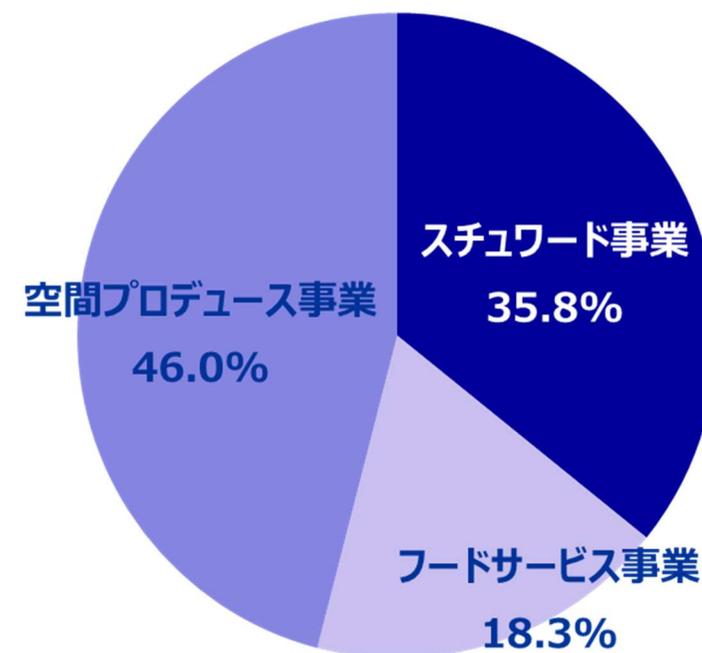
【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【設立】	1984年（昭和59年）12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	5,285,600株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 田口 泰一
【連結従業員数】	4,478名（うち、パート・アルバイト 3,975名） （2021年3月31日現在）

連結業績(P/L)

(単位：百万円)	2020年9月期 第2四半期	2021年9月期 第2四半期	差異
売上高	7,860	5,028	▲ 2,832
営業利益	268	▲ 273	▲ 541
経常利益	297	96	▲ 200
親会社に帰属する当期純利益	181	▲ 112	▲ 294
1株あたり当期純利益(円)	36.01	▲ 22.35	▲ 58.36

(単位：百万円)	2021年9月期第2四半期		差異
	計画値	当期	
売上高	5,110	5,028	▲ 82
営業利益	▲ 205	▲ 273	▲ 68
経常利益	97	96	0
親会社に帰属する当期純利益	▲ 111	▲ 112	▲ 1
1株あたり当期純利益(円)	▲ 21.97	▲ 22.35	▲ 0.38

【セグメント別売上構成比】



Point

- 新型コロナウイルスの感染再拡大による第2回緊急事態宣言が発出されたことにより、厳しい事業環境が続き、グループとして大きく売上高を落とした。
- 営業利益についても計画を大きく下回る。
- 雇用調整助成金が給付され、経常利益については予想通りに推移。

連結業績(B/S)

(単位：百万円)	前期末 2020年9月末日現在	当期末 2021年3月末日現在	差異
資産合計	5,604	5,278	▲ 326
流動資産	3,219	2,801	▲ 418
固定資産	2,385	2,477	91
負債合計	3,031	2,823	▲ 208
流動負債	2,017	1,847	▲ 169
固定負債	1,014	975	▲ 39
純資産合計	2,573	2,454	▲ 118
株主資本	2,510	2,376	▲ 133
評価・換算差額等	63	77	14
負債・純資産合計	5,604	5,278	▲ 326
自己資本比率	45.9%	46.5%	0.6P



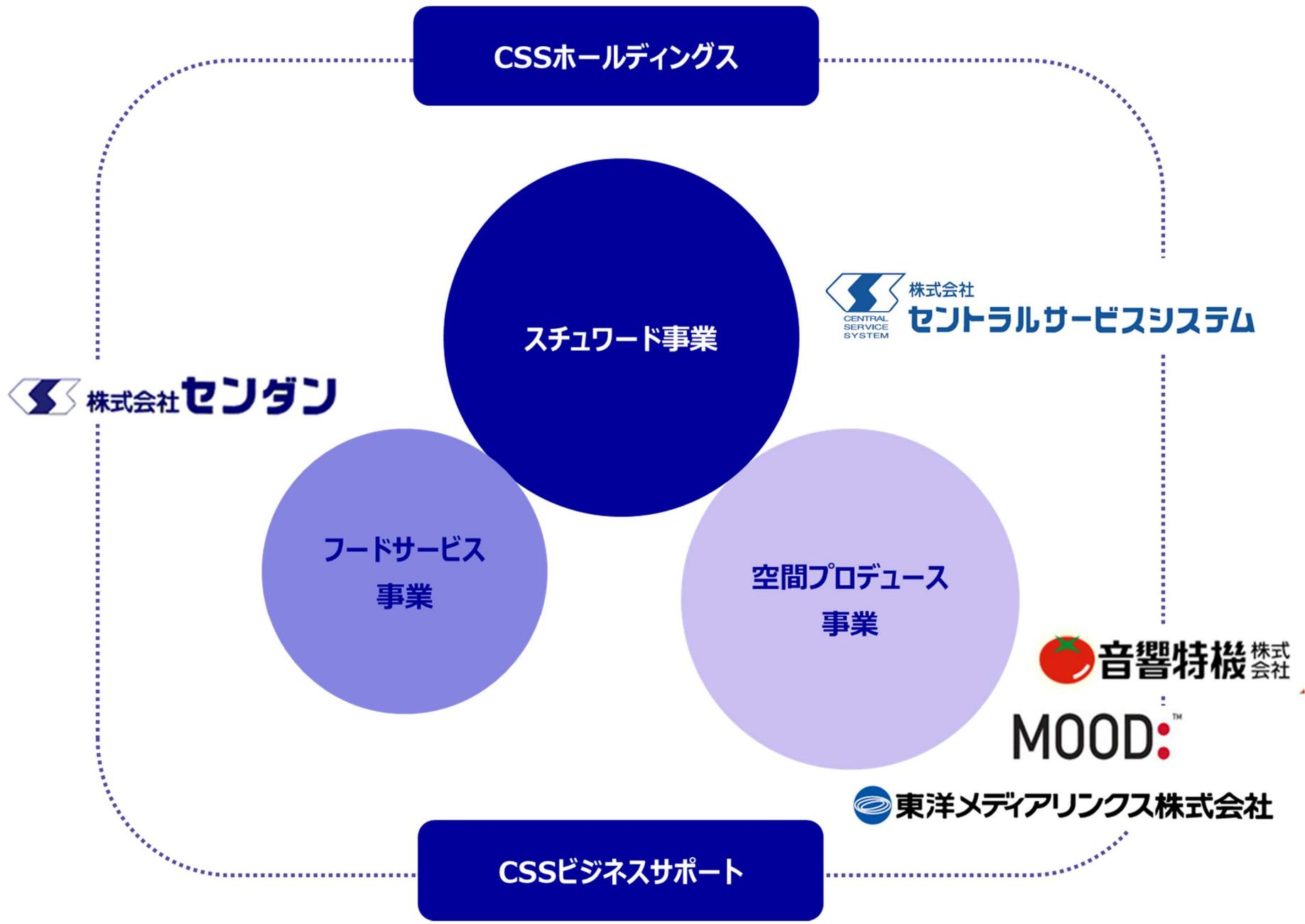
Point

流動資産については売上高の減少に伴う売掛金等の減少によるもの。
 固定資産については投資有価証券の増加によるもの。
 負債については長期借入金の返済により固定負債が減少。
 純資産は減少したものの、総資産の圧縮、負債の減少により
 自己資本比率は46.5%となった。



連結業績(C/F)

(単位：百万円)	2020年9月期 第2四半期累計期間	2021年9月期 第2四半期累計期間	差異
営業キャッシュフロー	315	▲ 272	▲ 588
投資キャッシュフロー	▲ 31	21	53
財務キャッシュフロー	▲ 227	▲ 96	131
現金及び現金同等物の増減額	56	▲ 346	▲ 403
現金及び現金同等物の期首残高	807	1,149	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	864	802	▲ 61



セグメント別実績

【売上高】

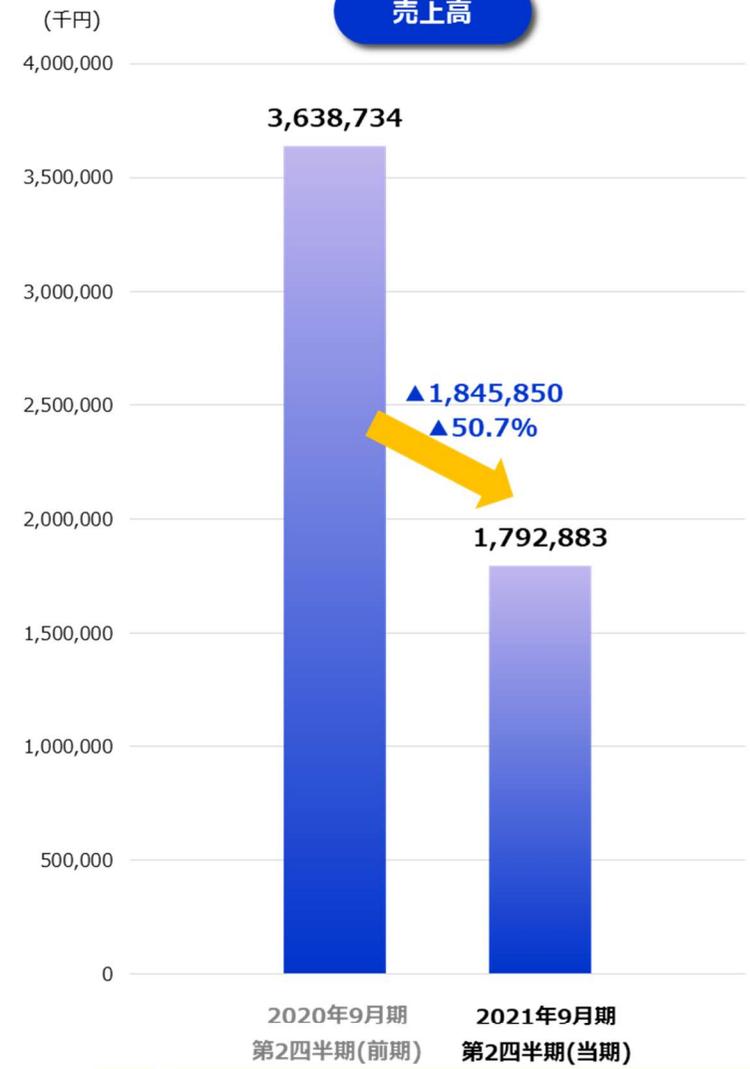
(単位：千円)	2020年9月期 第2四半期	2021年9月期 第2四半期	増減額	増減率
スチュワード事業	3,638,734	1,792,883	▲ 1,845,850	▲50.7%
フードサービス事業	1,395,449	914,689	▲ 480,759	▲34.5%
空間プロデュース事業	2,808,326	2,304,317	▲ 504,009	▲17.9%

【セグメント利益】

(単位：千円)	2020年9月期 第2四半期	2021年9月期 第2四半期	増減額	増減率
スチュワード事業	154,119	▲ 225,384	▲ 379,504	—
フードサービス事業	13,770	▲ 60,068	▲ 73,838	—
空間プロデュース事業	102,721	73,931	▲ 28,790	▲28.0%

スチュワード事業

売上高



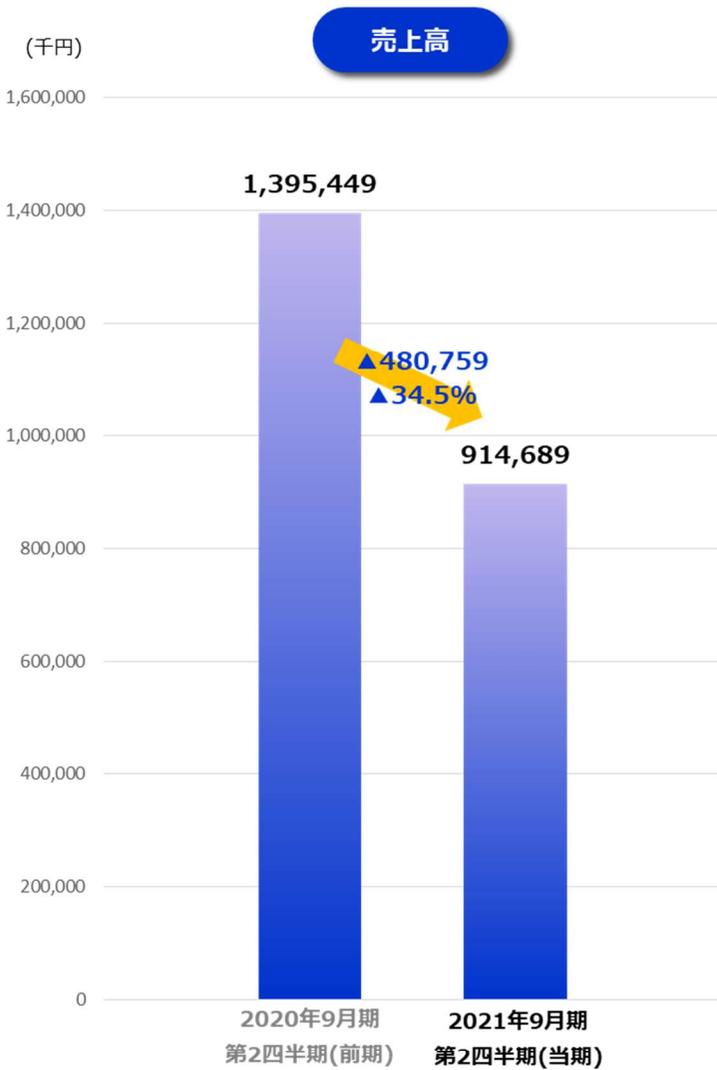
営業利益



Point

- 1月に発出された第2回緊急事態宣言により、当第2四半期の売上高は落ち込み、当初見込み93%に留まる。
- 雇用の安定、確保の方針のもと、社員、パート・アルバイトの休業補償を人件費として計上したことにより大きな営業損失の計上となった。

フードサービス事業



Point

- 緊急事態宣言発出によるホテルの休館、レストランの時短営業により来客数が激減、第2四半期以降の売上高は大きく落ち込んだ。
- 新規開業にかかる準備費用、従業員の就労の継続にかかる人件費負担により、大きな営業損失の計上となった。

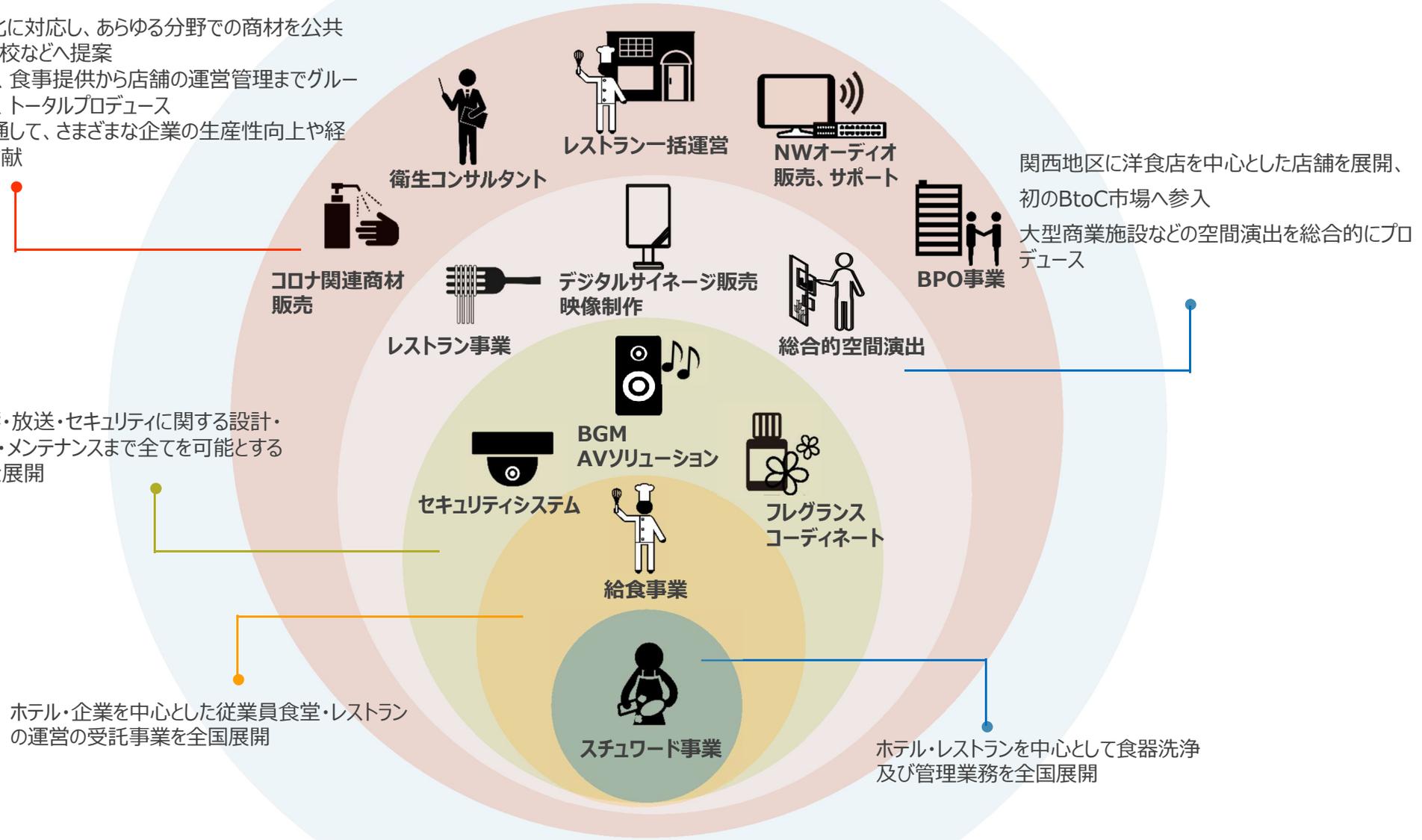


- Point**
- コロナ禍の影響により、サウンド・センサリ部門で売上が縮小したが、大型物流倉庫の防犯・放送設備の設計・施工案件を獲得、売上、利益に大きく寄与
 - 音響機器販売は、高利益率商材やEコマースを活用した販売活動に注力し売上を積み上げ利益を確保
 - コロナ禍における配送費の削減、固定費の圧縮を行い利益を確保

各事業の具体的施策

発展し続ける、CSSグループの事業領域

時代、暮らしの変化に対応し、あらゆる分野での商材を公共施設や飲食店、学校などへ提案
 レストラン事業では、食事提供から店舗の運営管理までグループシナジーを生かし、トータルプロデュース
 また、BPO事業を通して、さまざまな企業の生産性向上や経営課題の解決に貢献



BGM・映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスまで全てを可能とする空間プロデュースを展開

ホテル・企業を中心とした従業員食堂・レストランの運営の受託事業を全国展開

ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開

関西地区に洋食店を中心とした店舗を展開、初のBtoC市場へ参入
 大型商業施設などの空間演出を総合的にプロデュース

新たなグループシナジーの創出に向け、私たちはチャレンジし続けます

社会の有り様が大きく変化してきている状況の中、新たな価値を創出すべく、以下の重点施策を推進していきます。



スチュワード事業

- ▶ 清掃事業の売り上げ拡大
- ▶ 衛生関連事業の推進
- ▶ スチュワード資格制度の拡充
- ▶ 事業の多様性、更なる専門性に向けた資格取得を推進
- ▶ 高齢化に向け作業補助ロボット導入への検討開始



フードサービス事業

- ▶ 販売品目の拡充
- ▶ HACCPに沿った衛生管理のコンサルタント
- ▶ ホテル・商業施設の空きテナントへの積極的出店



空間プロデュース事業

- ▶ 顔認証システムやAVネットワークシステム等の医療市場へのアプローチ
- ▶ ビジネスパートナーとのコラボレーション強化
- ▶ リモート業務の拡大に伴うネットワーク・オーディオ需要の取り込み

FY2022 – FY2024中期経営計画策定に向けての 考え方と40thに向けた取組み

CSSグループ40thに向け、当社の事業を通し、持続・発展可能な社会を共に築くプロフェッショナル
軍団パートナーを目指します

2024年 グループ40th
に向けた重要課題

企業価値の向上

売上の拡大

働き甲斐のある職場

CSSグループでは、ステークホルダーの皆さまからの長期的な信頼が得られることを目的とした、ESG経営を推進いたします。



環境 Environment

環境リスクや汚染への配慮

- ・環境に優しい製品を積極的に採用

資源の有効利用

- ・需給の適正化への取り組み

社会 Social

ダイバーシティ経営の推進

- ・女性管理職
- ・多様な人材の活用

地方創生

- ・地方における就労の創出
- ・地産地消の推進

ガバナンス Governance

コーポレートガバナンス体制の強化

- ・社外取締役比率の向上
- ・指名報酬委員会の設置



持続可能な最高のおもてなしを支える
 最適なパートナーを目指して
 ～サステナブルな未来の実現へ～

CSSグループでは、「持続可能な最高のおもてなしを支えるパートナー」を経営理念とし、5つの重要テーマを掲げ、事業活動を通じた社会還元を目指していきます。また、SDGsの取り組みは、当社の長期的成長を支えるとともに、社会の持続性に大きく貢献するものと考えています。



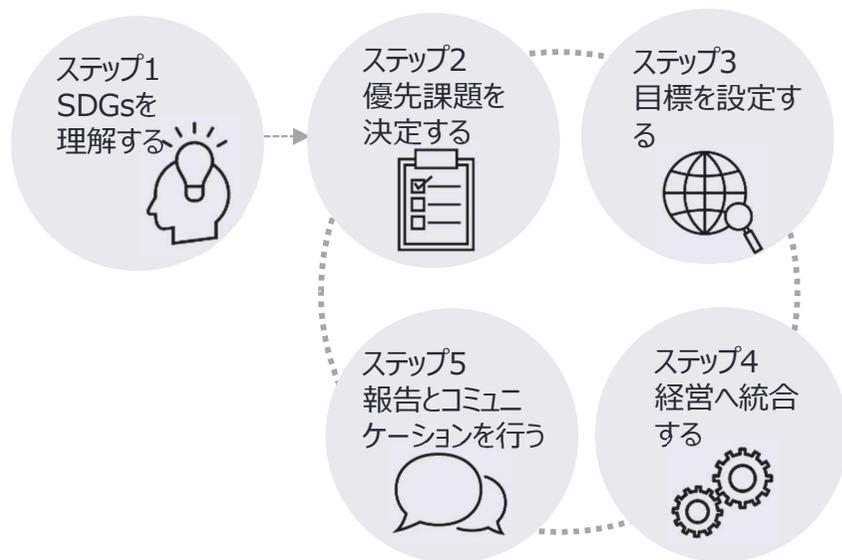
CSSグループが目指す
 5つの経営指針

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| Possibility (可能性) | 働く従業員全員が夢を叶える機会を |
| Decency (品格) | 会社が良い方向に向かっていくためにエネルギーを集中 |
| Diversity (多様性) | 従業員一人ひとりに平等の機会を与える |
| Unity (結束) | 分断ではなく結束を |
| Voice (声) | 現場の声を大事に、物事は現場で起きている |

SDGsプロジェクトの発足

CSSグループ全社の事業を通して、積極的に社会の課題解決に取り組む目的として、各社若手社員を中心としたSDGsプロジェクトを発足。

SDGsの企業行動指針である「SDGs Compass」の5つのステップを参考に目標を設定すべく計画を策定しています。



出典：経済産業省「SDGs経営ガイド」内「SDGs Compass」をもとに作成

グループ従業員一人ひとりがサステナビリティに対する考えや本質を理解し、自らの生活や業務と社会課題との結び付けを意識することが必要と考えます。

その為の最初のアクションとして、社内勉強会の実施や積極的なセミナーへの参加、社内イントラネットや社内報を通して社会課題や具体的な取り組み事例など、様々な角度からわかりやすく展開しています。



社内浸透の取り組み

当社の存在価値を示すべく、プロジェクトを推進し「社会に必要とされる企業」を目指してまいります。

本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス グループ経営本部

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp